

# 平成23年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計当初予算説明資料

## 1 款 事業費

### 1 項 事業費

水産課・境港水産事務所 (0859-42-3167)

### 1 目 魚市場事業費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	繰入金	
(新) 魚体選別機整備事業	198,000	0	198,000		198,000			
トータルコスト	199,598千円 (前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	魚体選別機の導入及び運営管理調整業務							
工程表の政策目標 (指標)	全国主要漁港水揚量順位10位以内の確保							

#### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的・概要

県営境港水産物地方卸売市場の受入販売体制を強化するため魚体選別機を整備し、取扱量の維持向上、水産物の付加価値向上等を図る。

#### ○選別処理機能が必要とされた経緯

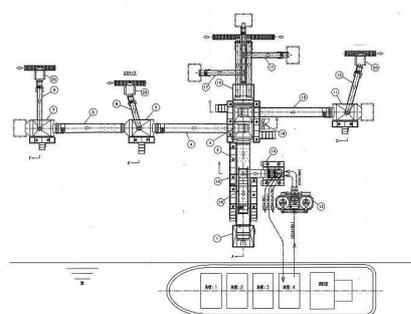
- ・境漁港は西日本最大の水揚量を誇る漁港であり、これまで大量の漁獲物を冷凍向けに迅速に処理する体制に特化してきた。
- ・近年の水産資源減少に伴い、生産者は漁獲物の付加価値向上を求め、生鮮消費向け漁獲物については選別機能の整った近隣他港に水揚げする傾向にある。
- ・境漁港の今後の発展を図るためには、従来の冷凍向け大量処理機能に加え、生鮮向け選別処理機能を整備し、生産者・消費者の双方に魅力のある漁港とする必要がある。

#### 2 主な事業内容

- ・魚体選別機等設置工事 (魚体選別機2式) 187,470千円
- ・電気設備等工事 10,530千円



選別部分：間隔の調整可能なローラーに魚を流し魚体の幅により選別



平面配置図

#### 3 これまでの取組状況、改善点

#### ○これまでの取り組み状況

- ・境港の水揚量は平成6年以降減少に転じ、生産者からは量的減少の補完を目的とした付加価値向上のため、市場の選別機能整備の要望があった。
- ・平成21年度から境港地域プロジェクト協議会において、まき網関係地域流通改革計画の主要項目として協議を開始した。
- ・同年度末建設委員会を設置し、他業種との岸壁利用調整、選別処理後の動線想定、利用管理体制の設計等具体的内容の調整を実施した。
- ・平成22年度から近隣の島根県恵曇港の魚体選別機が稼働し、水揚物の流出がより明白となり、地域の意向として速やかな整備が望まれている。